

当社においては、匿名化された試料・情報が提供されています。
お問い合わせ頂く場合は、試料・情報の入手先機関へお願いいたします。

研究番号	2020004
入手する試料・情報	血液・尿試料、年齢、投薬歴などの診断情報 (特定の個人を識別することができる既存試料・情報は提供を受けない)
利用目的・利用方法	様々な測定に用いられる検体採取容器に試薬を添加したり、採取容器の形状を工夫したりすることにより、現在の臨床検査の現場での課題を克服できる検体採取容器の開発に利用する
試料・情報の入手先	東京大学医学部附属病院
利用する者の範囲	東京大学医学部附属病院、ニプロ株式会社
ニプロ株式会社 研究責任者	総合研究所 第3 研究開発部 吉田 博

研究番号	2021005
入手する試料・情報	消化器癌患者の腫瘍組織・個々の腫瘍組織にもとづく処理結果・細胞培養率・腫瘍名・腫瘍グレード (特定の個人を識別することができる既存試料・情報は提供を受けない)
利用目的・利用方法	患者から得られた微量検体組織から細胞を純化し培養、増幅、解析に応用するための簡便な組織処理プラットフォームの開発検討に供する。
試料・情報の入手先	東京大学医学部附属病院
利用する者の範囲	東京大学医学部附属病院、ニプロ株式会社
ニプロ株式会社 研究責任者	総合研究所 第4 研究開発部 本田 稔

研究番号	2021009
入手する試料・情報	COVID19 患者の患者情報、サマリー、血液検査結果、画像（レントゲン、CT）など (特定の個人を識別することができる既存試料・情報は提供を受けない)
利用目的・利用方法	COVID-19 患者の、臨床情報や検査情報を収集し、その情報もとに人工知能で開発したシステムを用いて重症度の予測を行うトリアージシステムを構築するため。
試料・情報の入手先	東京大学医学部附属病院
利用する者の範囲	東京大学医学部附属病院、ニプロ株式会社
ニプロ株式会社 研究責任者	検査商品開発・技術営業部 近藤 裕司

研究番号	2022001
入手する試料・情報	試料：EDTA 血漿 50 検体各 300-500 uL 情報：年齢・性別・臨床情報 (特定の個人を識別することができる既存試料・情報は提供を受けない)
利用目的・利用方法	認知症診断には髄液中リン酸化タウやタウ測定や PET などによる画像診断などが用いられていますが、髄液採取は侵襲性が高く採取可能な施設に限られる、画像診断は費用が高額である等の問題点があります。 我々は血液で簡便に認知症の診断ができるバイオマーカーの検討をしており、当研究において入手した認知症患者および陰性対照の血液を用いて、血液中バイオマーカーの有用性を評価いたします。
試料・情報の入手先	国立長寿医療研究センター バイオバンク
利用する者の範囲	ニプロ株式会社
ニプロ株式会社 研究責任者	総合技術研究所 第3 研究開発部 吉田 博

以上